

関沢小だより



校長 藤谷 健二

【 いのちの授業 】

「一人の命に沢山の命のつながりがある。」いのちは意望知～そっと、ぎゅっと～をテーマに5年生対象のいのちの授業がありました。富士見市の「いのちの大切さをはぐくむ事業」として毎年、市内の全ての学校で実施しています。講師は三育学院大学、母子看護学 助教授の中 理恵先生です。中先生は助産師として多くの出産に立ち会った経験をもとに「命の最初は光るんだよ。」「赤ちゃんはみんなを笑顔にしてくれるんだよ。」「私達は、誰もがみな赤ちゃんの時代がありみんなに支えられて生きてきました。5年生のみんなも先生達も私もみんな同じ赤ちゃんでした。」「小さな小さな命の始まりは、こんなにちっちゃくて、そっと大事に抱えるんだよ。」と子供達に語りかけるようにお話をしてくださいました。5年生のみんなは驚きとともに生命の不思議さや命の尊さに真剣に耳を傾けていました。

学習を終えて、代表の子が「弟や妹が赤ちゃんだった時を思い出しながら話を聞くことができ、改めて命の大切さを知りました。」「11秒の間に371人の赤ちゃんが世界中で亡くなるということを知り命の大事さを学びました。」「命の大切さや赤ちゃんのすごいところを知ることができました。」と感想を述べました。保護者の方からも「お母さんが頑張って産んでくれたとありましたが、お腹の中で大きくなってきて、頑張って生まれてきてくれてありがとうと伝えたいです。」や「ぎゅっとするだけで沢山の幸せな気持ちになってくれてとても嬉しく思いました。少し恥ずかしそうにしながらもニコ～っと嬉しそうな顔を見られたので、まだまだこれからもぎゅっとしたり、スキンシップを大事にしたりしようと思いました。」などの感想もお寄せいただきました。

7月の今月の歌「COSMOS」の中に「時の流れに生まれたものなら、ひとり残らず幸せになれるはず」の歌詞が出てきます。何万年という時を経て、命がつながり、今、私達は生きています。コロナ禍で多くの命が世界中で失われている現状があります。たった一つのかげがえのない命、その大切な自分の命とみんなの命を大事にできる子供達を育て、ひとり残らず誰もが幸せになれる学校を創り上げていきます。



【赤ちゃんの重さを体験】

小中一貫 西中學生大活躍


音楽会で金賞を受賞した西中学校の3年生が6年生に歌声を披露してくれました。また、あいさつ運動で元気にあいさつをしてくれました。関沢小学校も各クラス1回あいさつ運動に取り組みました。先輩達の頼もしい姿を見て、憧れの眼差しでした。今後も可能な範囲で、小中一貫の取組を推進していきます。



12月の行事予定

今月の生活のめあて

すみずみまでそうじをしよう

1	火	普通日課5時間：3・4年生 お話朝会 音楽発表会・懇談会（中・さくら）	16	水	学年・学級の時間
2	水	普通日課5時間：5・6年生 学年・学級の時間 音楽発表会・懇談会（高） 給食費集金日	17	木	普通日課5時間（クラブ活動なし） 学年・学級の時間
3	木	朝読書 委員会活動	18	金	すくすくタイム（1・3・5年）
4	金	すくすくタイム（1・3・5年） 音楽発表会・懇談会（低）	19	土	
5	土				
6	日		20	日	
7	月	月曜特日課	21	月	月曜特日課4時間
8	火	集会朝会	22	火	普通日課4時間 学年・学級の時間
9	水	学年・学級の時間 なかよしタイム 学年教材費集金日	23	水	普通日課4時間 学年・学級の時間
10	木	朝読書 クラブ活動	24	木	特別日課5時間 給食終了 一斉下校（5校時）
			25	金	普通日課3時間 学年・学級の時間
11	金	すくすくタイム（2・4・6年）	26	土	
			27	日	
12	土		28	月	普通日課3時間 終業式
13	日		29	火	冬期休業日（～令和3年1月5日（火））
14	月	月曜特日課 大掃除週間（21日まで）	30	水	
15	火	音楽朝会	31	木	

※1月より3学期の間は、全学年とも「月曜特日課5時間」となりますので、ご承知おきください。
 ※3学期の「読み聞かせ」について、実施回数を制限するとともに、感染防止等の対策を徹底することを通して、再開いたします。また、1月23日（土）に予定していた土曜参観日について、今年度は公開中止とします。ただし、当初示した行事予定に沿って「土曜授業日」として設定いたしますので、児童は登校します。当日は普通日課3時間、振替休業日は29日（金）となります。よろしくお願いいたします。
 ※土日等の休みの日においても、検温と健康カードへの記入を忘れずに行っていただくよう、お願いいたします。

持久走記録会ありがとうございました

持久走記録会では、たくさんの温かい応援をありがとうございました。子ども達は日頃の練習の成果を十分に発揮しようと頑張っていました。自分の記録距離を少しでも伸ばし、最後まであきらめないで走り抜くという心構えで、練習から全力で取り組んでいました。これからも学校全体で体力向上に取り組んでいきます。

学校研究の進捗状況について

10月号でもお伝えした通り、今年度より本校では「自分の可能性を信じ、未来へ挑戦する児童の育成～児童一人ひとりの自己肯定感を高める学びのデザイン～」をテーマに学校研究を進めています。先月初旬に埼玉大学の教授をお招きし、児童の授業の様子を参観していただくとともに、研究テーマに関するご講義をいただきました。講義では本校で定義した自己肯定感について、心理学的視点からのご指導を受けました。その中で特に重要と感じたのは、有能性（できる、いいところがある）・関係性（他者の役に立っている）に加えて「自律性（自分でやる、自分が決める）」も必要であるということです。自律性に基づく主体的活動があつてこそ、自己肯定感の高まりを保障でき、生活や学習等における意欲の向上にもつながるとのことでした。

今回の研修で学んだことを生かしながら、今後も研究を進めてまいります。研究の進捗については順次お伝えしていきます。

